

中津のフルーツ、これから旬を迎えます！

中津市では、これから本格的な果物の季節を迎えます。「ふるうつロード」の看板がある東中津地区を中心に、梨38戸、ぶどう30戸の農家で栽培が行われています。

毎年7月中旬から10月下旬まで、各生産者が直売所を開設し、宅配や個人販売を行っています。今年は天候に恵まれ生育も良好です。ぜひ、中津の特産である梨、ぶどうをご賞味下さい。



1. 中津市の梨・ぶどうについて

中津市では古くから梨、ぶどうの栽培が行われ、その始まり大正時代まで遡ります。

中津地域の梨の主力品種は「菊水」ですが、近年、消費者から好まれる「豊水」を代表とする赤梨系への転換が進められています。

「菊水」は管理が大変なことから、中津市以外ではほとんど栽培されなくなっており、**まぼろしの梨**とも呼ばれています。

山国地域では、「豊水」が梨の主力品種で、果実が大きい「新高」の栽培も盛んです。

ぶどうについては「巨峰」が主力品種で、「ピオーネ」、「シャインマスカット」等の有望品種の栽培も行われています。

大分県の主産地（日本梨）

順位	市町村	経営体数 (戸)	栽培面積 (ha)	生産量 (t)
1	日田市	129	166	6,285
2	由布市	41	24	960
3	中津市	38	20	1,207
4	九重町	25	18	760
5	日出町	22	13	530

大分県の主産地（ぶどう）

順位	市町村	経営体数 (戸)	栽培面積 (ha)	生産量 (t)
1	宇佐市	143	109	1,530
2	日田市	67	46	589
3	中津市	30	14	326
4	竹田市	31	6	101
5	国東市	4	4	67

注1：経営体数、栽培面積は「2015 農林業センサス」による値

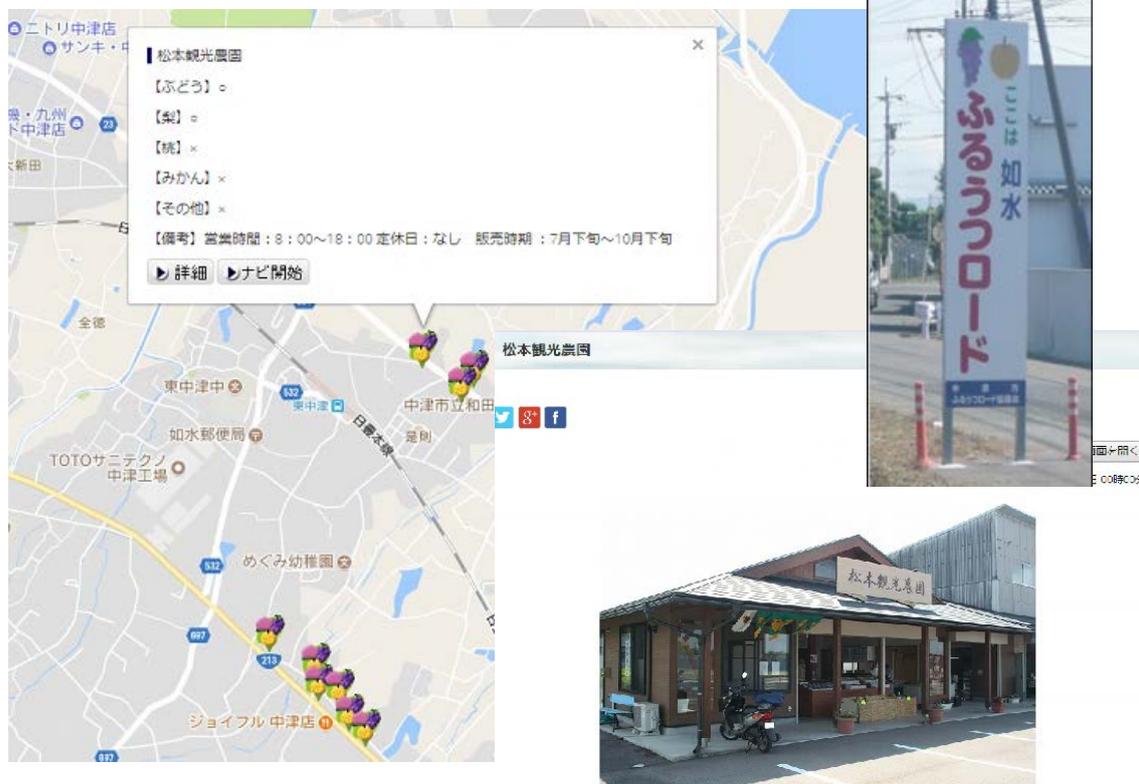
注2：生産量は平成28年3月「大分県の園芸 資料編」（大分県農林水産部園芸振興室）の値

2. 市ホームページ等での紹介

中津市フルーツマップとして、市ホームページで直売所15か所（連絡先、取扱品目等）を紹介しています。また、中津ナビで各直売所までご案内していますので、ご利用ください。

■中津ナビ→観光情報→フルーツマップ

<http://www.city-nakatsu.jp/navi/maps/fruitmap#map/list>



■問合先 中津市農政振興課 担当：村上
(☎0979-22-1111・内線403)